

DVD増設ユニット

取扱説明書

工事説明付き

品番 WJ-HDE510

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付



上手に使って上手に節電

もくじ

取扱説明

商品概要	2
付属品をご確認ください	2
安全上のご注意	3
使用上のお願い	5
●本機の取り扱いについて	5
●DVD-RAMディスクの取り扱いについて ..	6
●お手入れについて	7
各部の名前と働き	8
DVD-RAMディスクの装着方法	9

工事説明

ハードディスクドライブの増設方法	10
接続のしかた	12
●ハードディスクドライブ未増設時の接続例..	12
●ハードディスクドライブ増設時の接続例..	13
ラックへの取り付けかた	14

付録

故障と思われましたら	15
●こんなときは	15
●動作表示灯が緑点滅したときは	16
仕様	17
保証とアフターサービス	18

このたびは、DVD増設ユニットをお買いあげいただき、まことにありがとうございました。

商品概要

本機は、デジタルディスクレコーダー WJ-HD500用の増設ユニットです。DVD-RAMドライブを内蔵しており、デジタルディスクレコーダーに録画されたデータのバックアップ（コピー）をDVD-RAMディスクに記録します。また、ハードディスクドライブを2台搭載することができ、デジタルディスクレコーダーの外付けハードディスクドライブとして使用することができます。

●使用できるDVD-RAMディスク

9.4 GB（両面）、4.7 GB（片面）、5.2 GB（両面）、2.6 GB（片面）のTYPE 1およびTYPE 2

本機では、ディスクがカートリッジに入った状態でのみ使用することができます。従って、TYPE 2のDVD-RAMディスクを使用する場合は、カートリッジからディスクを取り出して使用することはできません。また、一度取り出したディスクは、カートリッジに戻すと読み書きできますが、書き込み速度が低下する場合があります。

●推奨DVD-RAMディスク品番（2001年4月現在）

LM-HA94J（9.4 GB）、LM-HB47J（4.7 GB）、LM-DA52J（5.2 GB）、LM-DA26J（2.6 GB）、LM-DB26J（2.6 GB）

DVD-RAMディスクの種類について

DVD-RAMディスクは「記録できるDVD」として、パソコンデータの大容量記録再生を目的に開発されたりムーバブルメディアです。DVD-RAMディスクには、次のタイプがあります。

●TYPE 1

カートリッジからディスクの取り出しができないタイプです。

●TYPE 2

カートリッジからディスクを取り出せるタイプです。

付属品をご確認ください

電源コード	1	HDDダンパー	8
SCSIケーブル（D-sub50ピン ハーフピッチ）	2	HDDスリーブ	8
ラックマウント金具	2	アースパネ	2
ラックマウント金具取付ねじ	4	イジェクトピン	1
ラック取付ねじ（呼び径5タッピング）	4	取扱説明書（本書）	1
HDD取付ねじ	8	保証書	1

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

必ず販売店にご依頼ください。

異物を入れない



水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因となります

禁止

ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない



火災や感電の原因となります。

分解禁止

修理や点検は、販売店にご連絡ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いが出るなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

不安定な場所に置かない



落下などでけがの原因となります。

禁止

機器の上に水などの入った容器を置かない



水などが中に入った場合、火災や感電の原因となります。

水ぬれ禁止

⚠ 警告

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因となります。

禁止

コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因となります。

ぬれ手禁止

コンセントや配線器具の定格を越える使いかたや、交流100V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を越えると発熱による火災の原因となります。

禁止

⚠ 注意

通風孔・放熱ファンをふさがない



内部に熱がこもり、火災の原因となります。

禁止

振動や強い衝撃を与えない



火災や感電、故障の原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所に設置しない



火災や感電、故障の原因となります。

禁止

DVDドライブの内部をのぞき込まない



内部のレーザー光源を直視すると、視力障害を起こす原因となります。

禁止

DVDドライブのトレイに手を入れない



挟まれて、けがの原因となります。

指に注意

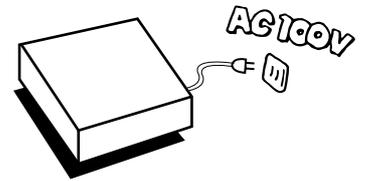
使用上のお願い

本機の取り扱いについて

使用電源は

AC100 V (50/60 Hz) です。

また、消費電力の大きな機器（コピー機、空調機器など）と同じACコンセントからは、電源をとらないでください。



使用温度範囲は

5 ~ 45 です。

この温度範囲外で使用すると、内部の部品に悪影響を与えたり、誤動作の原因となることがあります。



振動や衝撃を与えないでください

動作中に振動や衝撃を与えると故障の原因となります。

結露に注意してください

本機を温度差の大きいところや湿度の高いところへ移動すると、結露を生じることがあります。結露したまま使用すると故障の原因となりますので、ご注意ください。

放熱ファン、内蔵ハードディスク（増設時）は消耗品です

約30 000時間（ハードディスクは周囲温度25 °Cの環境で使用時）を目安に交換してください。消耗品の交換は、保証期間内でも有料となります。

交換する際は、お買い上げの販売店にご相談ください。

この時間は、あくまでも交換の目安であり、部品の性能を保証するものではありません。

電源スイッチについて

電源スイッチを“切”にしても電源からは遮断されません。（電源表示灯が消灯しても、電源が遮断されているとは限りません。）

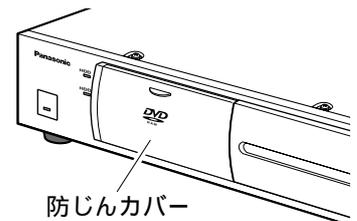
電源を遮断する場合は、ACコンセントから本機の電源プラグを抜くか、電源制御ユニット使用時は電源制御ユニットの電源を切ってください。

本機はDVD-RAMディスク専用です

- CDを再生したり、CD-ROMを読み出すことはできません。
- トレイには、DVD-RAMディスク以外のものを装着しないでください。故障の原因となります。また、トレイを開けた状態で放置しないでください。（内部にほこりが入り、故障の原因となります。）

防じんカバーについて（重要！）

DVD-RAMディスクの装着・取り出し以外は、防じんカバーを閉めておいてください。開けたままにしておくと内部にほこりが入り、レンズやディスクの汚れを早め、誤動作や故障の原因となります。



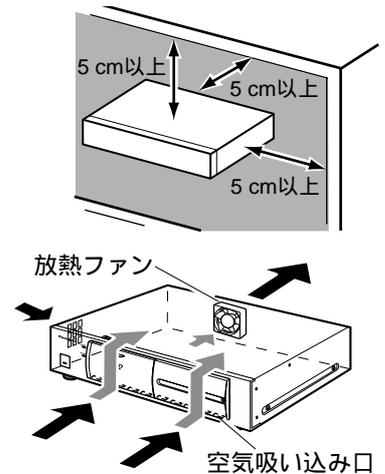
DVD-RAMドライブの動作中は電源を切らないでください

DVD-RAMドライブの動作中（動作中表示灯が橙点灯時）に電源を切ると、DVD-RAMディスクに記録されているデータが壊れる恐れがあります。

使用上のお願い

設置するときは

- 本機の側面・後面・上面を壁面から5 cm以上離してください。また、前面および側面にある空気吸い込み口をふさがないでください。機器内部の温度が上昇し、故障の原因となります。空気吸い込み口にほこりやゴミが目立ってきたときは、掃除機などで取り除いてください。
- 雑音源を避けてください。強い磁界を発生する機器（テレビ、ラジオ、無線機など）の近くでは、画像の乱れや雑音が発生する恐れがあります。また、電灯線などに近づけてケーブルを配線すると雑音が入る場合があります。
- 油煙、たばこの煙やほこりの多い場所に置かないでください。レンズやディスクにほこりが付き、動作不良の原因となります。

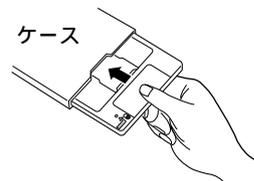


DVD-RAMディスクの取り扱いについて

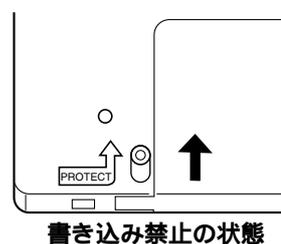
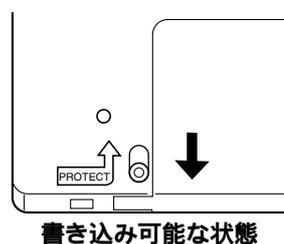
- ゴミやほこりの多い場所、温度・湿度の高い場所、直射日光の当たる場所に置かないでください。
- 温度差の激しい場所に置かないでください。（結露防止）
- ディスクの表面に触れないでください。



- 落としたり、曲げたり、重い物をのせたりしないでください。
- ラベルを重ねて貼ったり、はがしたラベルを再度貼らないでください。
- 使用しないときは、ケースに入れて保管してください。



- 大切なデータを保護するときは、“書き込み禁止”にしてください。



お手入れについて

本機表面のお手入れについて

電源を切り、乾いた布でふいてください。ほこりが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみ込ませ、よく絞り、軽くふいてください。その後、乾いた柔らかい布で洗剤成分をふき取ってください。

ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと、変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。



レンズ、DVD-RAMディスクのお手入れについて

長時間使用すると、本機のレンズやDVD-RAMディスクにほこりが付着し、正常に動作しなくなる恐れがあります。

使用環境や使用回数によって異なりますが、別売のクリーナーを用いて、1～4カ月に一度お手入れすることをおすすめします。定期的にお手入れをしないと、汚れを除去しにくくなり、動作不良の原因となります。

● クリーニングキット品番 [別売品、松下電器産業(株)扱い (2001年4月現在)]

LF-K123LCJ1 (DVD-RAM/PDドライブ用レンズクリーナー)

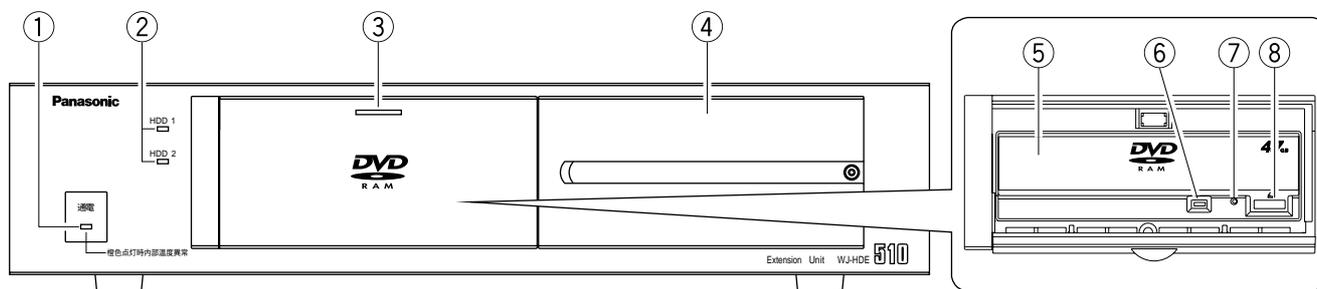
LF-K200DCJ1 (DVD-RAM/PDディスク用ディスククリーナー)

メモ

- お手入れの際は、ご使用になるクリーニングキットの取扱説明書をご覧ください。
- レンズクリーナーの取扱説明書に記載される動作と一部異なることもありますが、異常ではありません。

各部の名前と働き

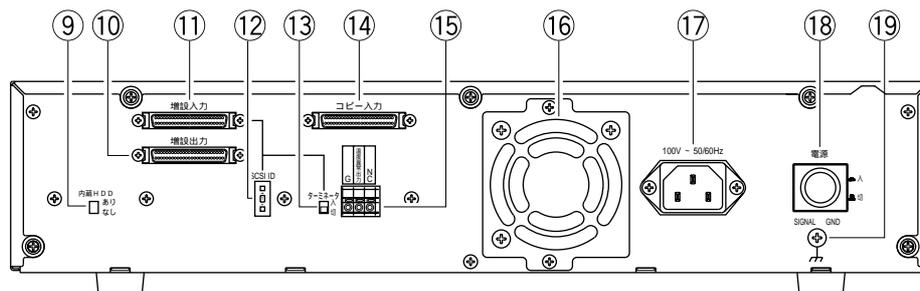
前面



- ① 電源表示灯
電源スイッチを「入」にすると緑色に点灯します。温度異常発生時は、橙色に点灯します。
- ② HDD表示灯
ハードディスクドライブにアクセス時、点灯します。
- ③ 防じんカバー
DVD-RAMドライブにほこりやごみが入るのを防ぐカバーです。DVD-RAMディスク装着時は、手前に倒します。
- ④ 前面カバー
ハードディスクドライブ増設時に使用します。
- ⑤ DVD-RAMドライブ(トレイ)
- ⑥ 動作表示灯
DVD-RAMディスク装着時、緑色に点灯します。動作中は橙色に点灯します。
- ⑦ 強制イジェクトホール
- ⑧ 開閉ボタン
DVD-RAMドライブのトレイを開閉します。

後面

後面各部の働きについては、工事説明(☞ 10ページ以降)をご覧ください。



- ⑨ 内蔵HDDスイッチ
- ⑩ 増設出力端子
- ⑪ 増設入力端子
- ⑫ 増設HDD用SCSI ID設定スイッチ
- ⑬ ターミネータスイッチ
- ⑭ コピー入力端子
- ⑮ 端子台
- ⑯ 放熱ファン
- ⑰ 電源端子
- ⑱ 電源スイッチ
必ずハードディスクレコーダー WJ-HD500よりも先に電源を「入」にしてください。後から電源を「入」にすると、本機が認識されません。

表示について

本機の識別および電源、その他の表示は、機器底面をご覧ください。

DVD-RAMディスクの装着方法

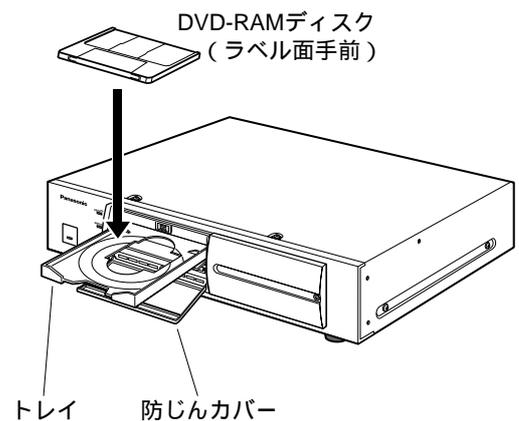
ここでは、DVD-RAMディスクの装着方法、および取り出し方法について説明します。

メモ

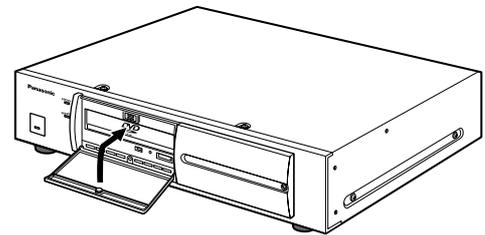
初めて使用するDVD-RAMディスクは、装着後フォーマットを行う必要があります。フォーマットは、デジタルディスクレコーダーを操作して行いますので、デジタルディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

装着手順

- 1 電源を入れ、防じんカバーを開きます。
- 2 開閉ボタンを押し、トレイを出します。
- 3 DVD-RAMディスクのラベル面を手前にして、トレイに装着します。
 - 書き込み可能な状態になっていることを確認してください。



- 4 開閉ボタンを押してトレイを閉じ、防じんカバーを閉めます。
 - トレイを軽く押しても閉じることができます。



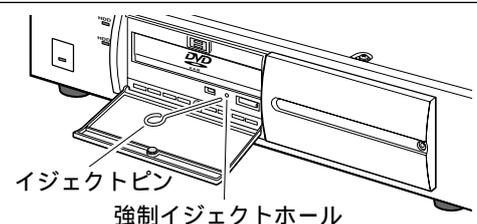
DVD-RAMディスクを取り出すときは

本機の開閉ボタンを押す前に、デジタルディスクレコーダーで次の操作を行ってください。

- ① メニューやリストの表示を消去します。
- ② コピーボタンを2秒以上押します。
画面中央に“DVD UNLOCKED”と表示されるのを確認してください。
- ③ 本機の防じんカバーを開き、開閉ボタンを押します。
トレイが開き、DVD-RAMディスクを取り出すことができます。

トレイがどうしても出ないときは

上記操作を行ってもトレイが出ないときは、必ず本機の電源を切り、付属のイジェクトピンを強制イジェクトホールに差し込んでください。
トレイを引き出すことができます。



ハードディスクドライブの増設方法

ハードディスクドライブの取り扱いについて

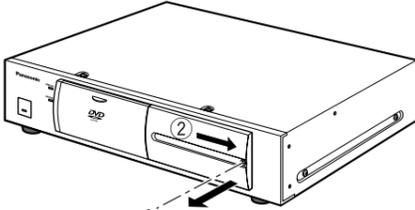
- 本機で使用できるハードディスクドライブについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。指定以外のものを使用された場合、動作保証はできません。
- ハードディスクドライブの増設は、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

ハードディスクドライブを増設する

本機には、最大2台のハードディスクドライブを搭載することができます。

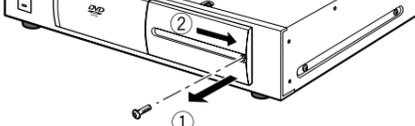
増設手順

1 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。



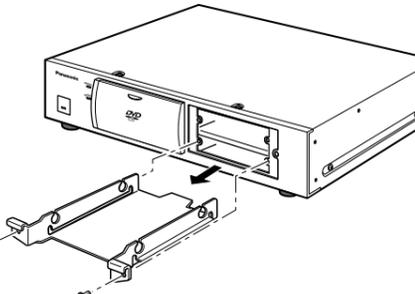
2 前面カバーを外します。

- ①ねじを外し、②カバーを右へスライドさせて外します。



3 HDD取付金具を外します。(2個)

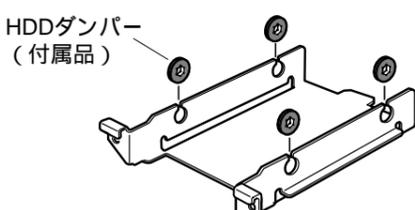
- ねじ(2本)を外し、手前に引いてください。
- 1台のみ増設する場合は、下側のHDD取付金具だけを外してください。
- 外したねじは取付時に使用しますので、紛失しないようご注意ください。



4 HDD取付金具に、付属のHDDダンパーを取り付けます。

- 取付部に、HDDダンパーの溝が確実に挟まるようにしてください。

HDDダンパー (付属品)



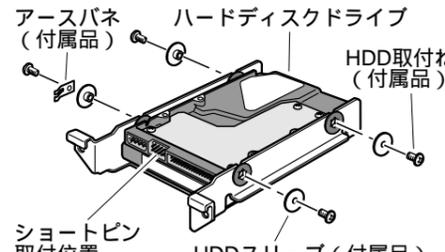
5 ハードディスクドライブを準備します。

- 袋から出す前に、人体に蓄積されている静電気を逃してください。
- 基板面を下にして、柔らかいマットなどの上に置いてください。このとき静電気防止のため、ハードディスクドライブが入っていた袋を敷くなどしてください。また置く際には、衝撃を与えないよう十分ご注意ください。

- ハードディスクドライブは精密部品です。静電気に敏感な部品も使用されていますので、直接ハードディスクドライブ上の部品に手を触れないでください。さわるときは金属製のロッカーなどに手を触れて、人体の静電気を除去してください。また、必ず側面を持つようにしてください。

6 ハードディスクドライブをHDD取付金具に固定します。

- 右図のように、必ずアースバネを取り付けてください。
- 電動ドライバーは使用しないでください。(衝撃防止)
- 締付トルク：0.49 N・m (5 kgf・cm)



アースバネ (付属品) ハードディスクドライブ HDD取付ねじ (付属品)

ショートピン取付位置 HDDスリーブ (付属品)

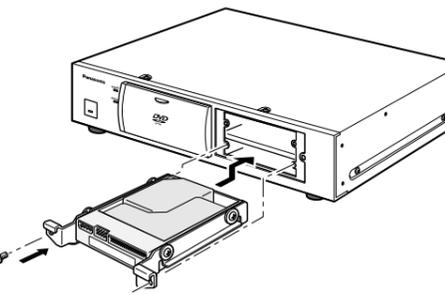
7 ハードディスクドライブのショートピンをつけかえます。

- 下側に取り付けるハードディスクドライブが“HDD 1”、上側が“HDD 2”です。
- 1台のみ増設する場合は、HDD 1”となります。

[HDD 1の場合] MASTERの位置に設定します。 ¹	ショートピン
[HDD 2の場合] SLAVEの位置に設定します。 ¹	ショートピン

8 手順3で外したねじを使用し、本機にハードディスクドライブを取り付けます。

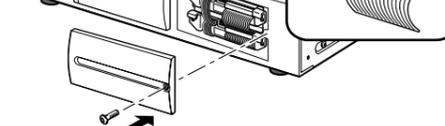
- 締付トルク：0.49 N・m (5 kgf・cm)
- 1台のみ増設する場合は、必ず下側に取り付けてください。



9 ケーブルを接続し、前面カバーを元に戻します。



10 本機後面の内蔵HDDスイッチを“あり”に設定します。

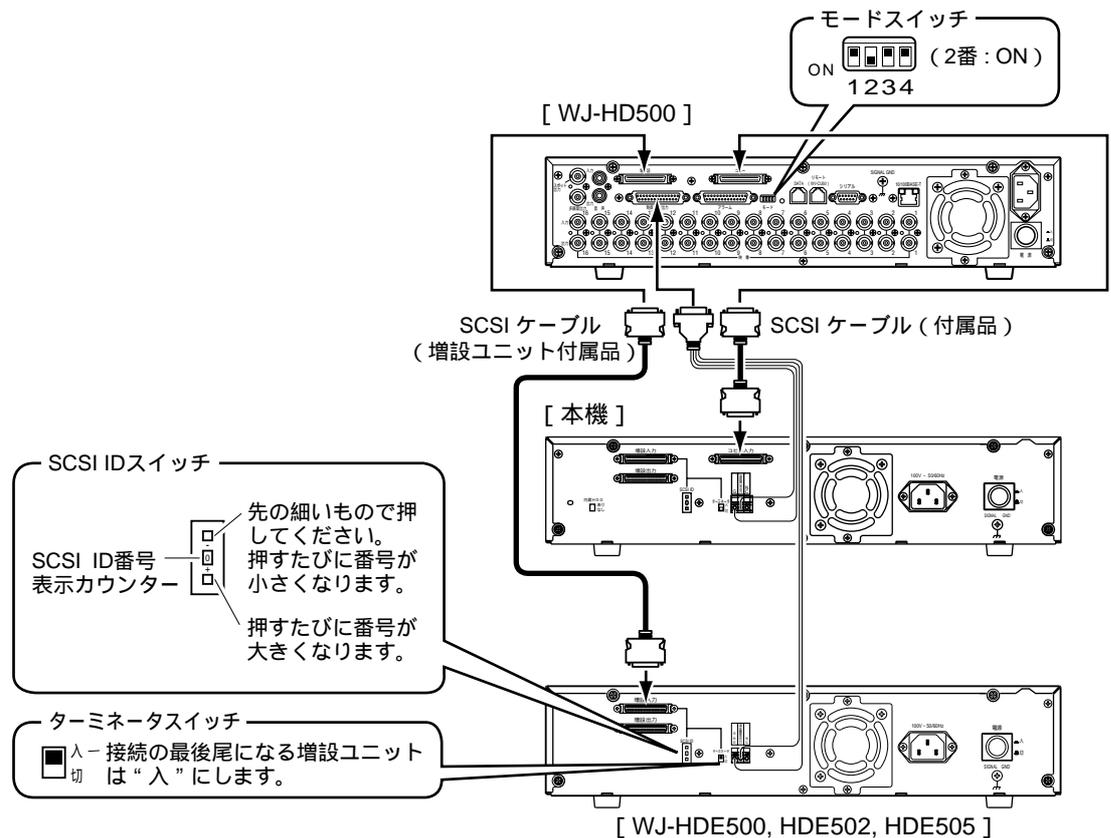


¹ ショートピンの位置は、2001年4月現在の製品の場合です。HDDの品番変更により、変わる場合があります。HDD本体にショートピンの設定例が表示されていますのでご参照ください。

接続のしかた

ハードディスクドライブ未増設時の接続例

本機に内蔵のハードディスクドライブを増設していない場合の接続例です。デジタルディスクレコーダーに録画されたデータのバックアップ用として本機（DVD-RAM）を使用します。



- ① WJ-HD500のモードスイッチ2番を“ON”に設定します。
他の増設ユニット（WJ-HDE500など）を使用せずに、本機だけをWJ-HD500に接続する場合は、“OFF”に設定してください。
- ② 付属のSCSIケーブルを使用し、上図のように接続します。
- ③ 温度異常出力信号を接続します。
WJ-HD500後面の制御入力/出力端子“DVD増設ユニット異常入力”へ接続してください。接続先のピン配列は、WJ-HD500の取扱説明書をご覧ください。



ボタン
マイナスドライバーなどで押すと、線材が抜けます。

線材装着部
ボタンを押しながら、線材を抜き差しします。
線材の被覆部分が製品本体に触れないように、奥に突き当たるまで差し込んでください。

約 6 mm

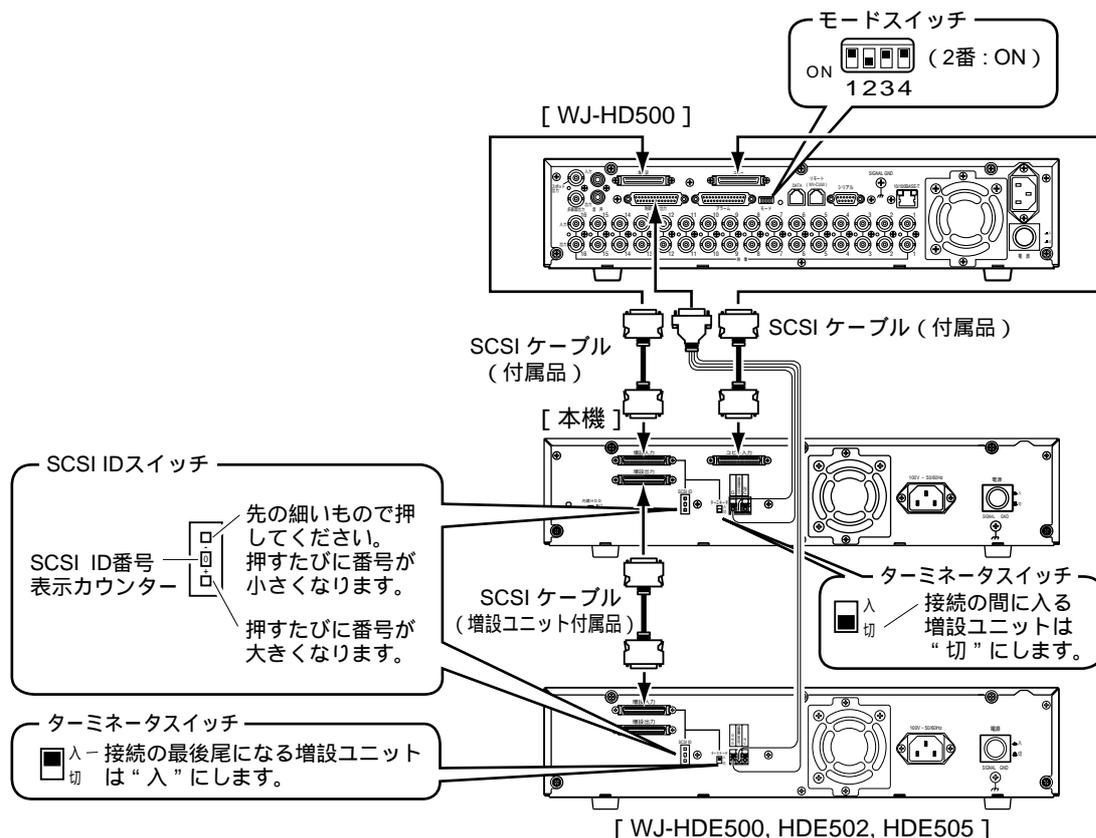
外皮

メモ

本機のスイッチ設定はありません。上記接続例にある他の増設ユニットの各種スイッチ設定については、増設ユニットの取扱説明書をご覧ください。

ハードディスクドライブ増設時の接続例

本機に内蔵のハードディスクドライブを増設した場合の接続例です。デジタルディスクレコーダーに録画されたデータのバックアップ用（DVD-RAM）およびデジタルディスクレコーダーの外付けハードディスクドライブとして本機を使用します。



- ① WJ-HD500のモードスイッチ2番を“ON”に設定します。
- ② 付属のSCSIケーブルを使用し、上図のように接続します。
他の増設ユニット（WJ-HDE500など）と組み合わせて使用する場合は、本機を2台目（WJ-HD500の次）に接続してください。
- ③ SCSI ID（0～5）を設定します。
SCSI ID“0～5”を本機および他の増設ユニットへ重複しないように設定してください。SCSI ID“6”および“7”はWJ-HD500で使用していますので設定できません。
- ④ SCSIターミネータ（ターミネータスイッチ）を設定します。
本機が接続の最後尾になる場合は、ターミネータスイッチを“入”に設定してください。本機の後には他の増設ユニット（WJ-HDE500など）を接続する場合は、本機のターミネータスイッチを“切”にして、最後尾になる増設ユニットのターミネータスイッチを“入”にしてください。
- ⑤ 温度異常出力信号を接続します。（☞ 左ページ参照）

メモ

WJ-HD500に接続できる増設ユニットは、本機を含めて最大6台までです。他の増設ユニットと組み合わせる場合は、そちらの取扱説明書もご覧ください。

ラックへの取り付けかた

本機を取り付けるラックは、次のいずれかをご使用ください。

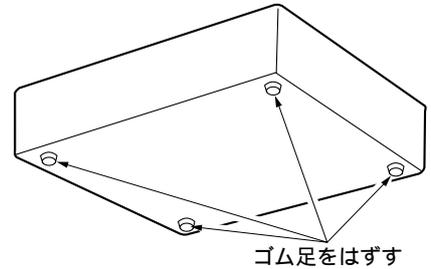
- スタンダードラック : WU-RS71 (当社製、収納ユニット数29U)
- ロングラック : WU-RL76 (当社製、収納ユニット数41U)
- EIA規格相当品 (他社製) : EIA19型、奥行き450 mm以上のもの

メモ

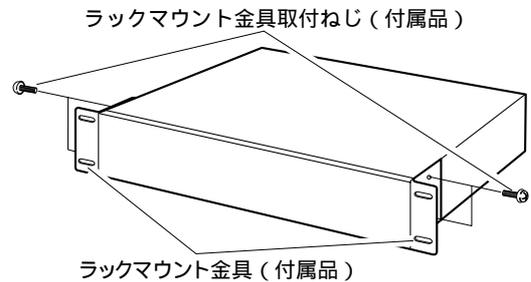
他社製ラックに取り付ける場合は、別売のラック取付ねじ W2-MSS/5008、またはM5×12ねじ(4本)が必要です。付属のラック取付ねじを使用すると、ラック取付部のねじ山を壊す恐れがあります。

取り付けかた

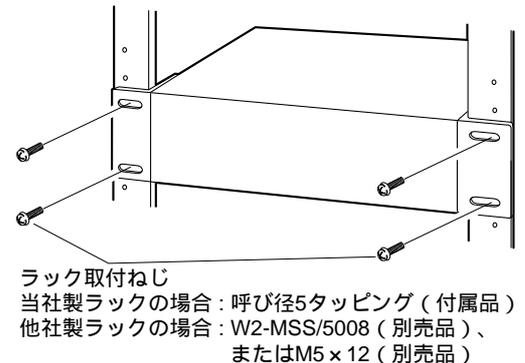
- 1** 底面のゴム足(4個)を外します。
- マイナスドライバーで、ゴム足を固定しているねじを外してください。



- 2** 本機の両側面に、ラックマウント金具を取り付けます。
- ラックマウント金具取付ねじ(4本)で確実に固定してください。



- 3** 本機をラックに取り付けます。
- ラック取付ねじ(4本)で確実に固定してください。



重要!

- ラック内の温度は、45℃以上にならないようにしてください。
- パワーアンプなど、発熱量の多い機器と一緒に取り付けるときは、1U以上の間隔をあけて、本機を下側に取り付けてください。

故障と思われましたら

こんなときは

修理を依頼される前に、次のことをご確認ください。確認後もトラブルが解消されないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

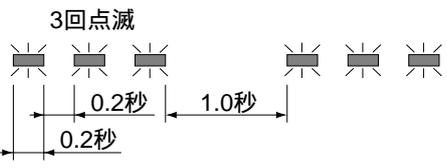
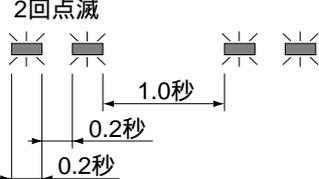
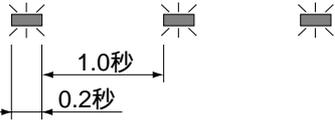
こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがACコンセントに確実に接続されていますか? ●付属の電源コードが、本機に確実に差し込まれていますか? 	-
電源表示灯が橙色に点灯する	●機器内部の温度が異常（低温 / 高温）です。適切な使用環境（+5 ~ +45）に設置されていますか?	-
温度異常ですぐに停止してしまう	<ul style="list-style-type: none"> ●空気吸い込み口がほこり等でつまっていませんか? ●後面の放熱ファンがふさがれていませんか? 	6
DVD-RAMドライブが認識されない	●SCSIケーブルは正しく接続されていますか?	12, 13
DVD-RAMディスクがフォーマットできない	●規格外のディスクを使用していませんか? 本機は4.7 GB / 2.6 GBのDVD-RAMディスク専用です。	2
	●レンズまたはDVD-RAMディスクが汚れていませんか? 別売のクリーニングキットをご使用ください。	7
DVD-RAMディスクにコピーできない	●書き込み禁止になっていませんか? ディスクを書き込み可能な状態にしてください。	6
	●レンズまたはDVD-RAMディスクが汚れていませんか? 別売のクリーニングキットをご使用ください。	7
	●動作表示灯が緑点滅していませんか? 16ページをご覧ください。	16
DVD-RAMディスクが取り出せない	●録画データのコピー中、または再生中ではありませんか? コピーまたは再生が終わってから取り出してください。	-
HDD表示灯が点滅する	●SCSIケーブルが確実に接続されていますか?	12, 13
増設したハードディスクドライブが認識されない	<ul style="list-style-type: none"> ●内蔵HDDスイッチは“あり”に設定されていますか? ●SCSI IDは正しく設定されていますか? ●付属のSCSIケーブルを使用していますか? ●SCSIケーブルが確実に接続されていますか? ●HDD1から順番に増設していますか? ●本機の電源をWJ-HD500より先に入れましたか? ●プレーカーなどで電源ON/OFFを一括で行っている場合、WJ-HD500と同一の電源にしていますか? ●無停電電源装置（UPS）を使用している場合、WJ-HD500と同一の無停電電源装置に接続していますか? 	10, 11

故障と思われましたら

動作表示灯が緑点滅したときは

DVD-RAMドライブが動作中に異常を検出すると、動作表示灯が緑色に点滅します。異常内容により点滅のしかたが異なりますので、次のことをご確認ください。

確認後も動作表示灯が点滅するときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。その際は、動作表示灯の点滅回数をお知らせください。

点滅の周期	原因	対処方法
 <p>3回点滅 0.2秒 1.0秒 0.2秒</p>	DVD-RAMディスクが汚れた状態で使用されたため、記録予備領域（交替領域）を90%以上使用している。 この場合、自動的に書き込み禁止状態になります。	●読み出し専用のDVD-RAMディスクとしてご使用ください。
 <p>2回点滅 1.0秒 0.2秒 0.2秒</p>	本機のレンズ、DVD-RAMディスクが汚れている。 この場合、自動的に書き込み禁止状態になります。	●本機のレンズとDVD-RAMディスクをクリーニングキット（別売品）でお手入れしてください。
 <p>1回点滅 1.0秒 0.2秒</p>	本機の内部温度が異常に上昇している。	●空気吸い込み口や放熱ファンをふさいでいる障害物（ほこりなど）を取り除き、本機の電源を切って自然冷却してください。

仕様

電源	AC100 V 50 Hz / 60 Hz
消費電力	約55 W (ハードディスクドライブ 2台増設時)
インターフェース	SCSI-2 (FAST SCSI) D-sub50ピンハーフピッチ
使用温度範囲	+5 ~ +45
外形寸法	幅420 mm 高さ88 mm 奥行き350 mm (ゴム足、突起部含まず)
質量	約7.7 kg (ハードディスクドライブ未増設時)
仕上げ	パネル : AVアイボリー焼付塗装 (マンセル7.9Y6.8 / 0.8近似色) カバー : AVアイボリー焼付塗装 (マンセル7.9Y6.8 / 0.8近似色)

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間
ただし、放熱ファンは消耗品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

補修用性能部品の保有期間

当社は、このDVD増設ユニットの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お 買 い 上 げ 年 月 日	年	月	日	品番	WJ-HDE510
販 売 店 名	☎ () -				

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 AVシステム事業部
〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎(045)932-1231(大代表)

NM0401-0

V8QA5724AN